

2.10臨時地本大会を成功させよう！

日刊 動労千葉

'79.2.8

No. 28

国鉄動力車労働組合

千葉地方本部

千葉市要町二一九（動力車会館）
（鉄電）二五八〇九（公衆）四三二二七二〇七

『執行権停止』攻撃をはねかえし 「動労改革」の一大のろしを！

わが動労千葉地本は、この間の正義の闘いの大きな成果にふまえ、今後の動労の大改革運動を一層強力に展開することを意志統一するため、二月一〇日、千葉市内、青雲閣における第三二回臨時地本大会の開催を決定し、現在、準備を進めている。

しかし、またもや本部は、中央執行委員会の決定をもって「千葉地本臨時大会の開催は、絶対に認めない」ことを明らかにしてきた。しかし、規約・規則の上では、地本大会の召集権者は、地本執行委員長であり、たとえ、中央本部といえどもこれを無視する権限はないのである。

われわれは、このような理不尽極まる事実上の「執行権停止攻撃」を断じて許さず、二・一〇臨時地本大会の成功をかちとらねばならない。

上部機関みずからが

数々の規約無視！

昨年の全国大会において「三里塚反対同盟とは一線を画す」という方針が強行されて以降、動労内一部反動分子は、

①一〇一回定中委における千葉地本・地青三役に対し「査問委員会」を強行設置、②その後更に全国青年部長会議における千葉地青への「権能停止」決定、③それを受けた関東青年部発一〇一発（宮内常任の否認）、④千葉地本を完全無視したまま、しかも意図的にねじまげられた一方からの申告のみをとり上げての綾部君への直接呼び出し・処分攻撃、⑤組織指導の重心たる本部青木書記長や城石組織部長が公式機関会議で公然と千葉地本を否定する発言を続けるという異常な状況（「敵」「裏切り者」「千葉地本再建にむけ・・・」等）、⑥その頂点的なものとしての一・三一「交流」会議設定と連動して行われた水上町集結の「指令なき集団」の千葉破壊の陰謀的行動等々にみられる露骨な千葉地本排除組織破壊攻撃を、規約等一切無視して強行してきているのだ。

動労の変質・セクト私物化を

もうこれ以上許せない！

このような組織指導上における重大な「規約・規則無視」行為の数々のもう一側面として決定的に重要視せねばならない事は、今、動労は重大な路線的危機に直面させられている事である。

すなわち、動労内一部反動分子は、自らの路線的・運動的危機を陰謀するため ①「三里塚敵対」、②「貨物安定宣言」、③「水本」運動もちこみ、と動労の闘う伝統を汚し、革マル派のセクト私物化の路線をひた走っている。そして心ある正しい批判をする者に対して ④問答無用のテロ・リンチで口を封ずる暴力支配を常態化するまでに至っている。

とりわけ一月に開催された全国組織部長会議では、こともあろうにかの醜態きわまりない「水本」運動を八〇年代にむけた動労の最も重要な基本的路線として推進強化する、というとてもない路線を遂にうち出し、動労を革マル派の私物化することを公然と表明するに至った点である。労働組合としてとり組むべき最低限の事をもなげすめて「水本」を、というこの路線の中では、労働組合としての動労はしめ殺されてしまう。

動労の闘う伝統をひきつぎ、自らの生活と権利を守るため、更に「四〇〇の英智と決断をもって、二・一〇地本臨時大会の圧倒的勝利を勝ちとろう。

第32回臨時地本大会に

圧倒的傍聴を！

時……二月一〇日九時三〇分

所……千葉市・青雲閣

（本町公園脇）

